

★当日最大6キロオーバー。今シーズン当地のヒラメは肉厚な個体が多く見た目より重量がある

▼年末年始は十分期待できそう



▲ハリ掛かりしたら一定のペースで巻き上げる。大型に備えてドラグ調節を忘れずに!

茨城県のヒラメ全面解禁 大洗沖は大判交じりで好スタート

撮影●伊井泰洋

▶イワシのサイズはエサにちょうどいい18センチ前後
◀仕掛けはおなじみの親孫式、標準オモリ80号



▲後半に追い上げました
◀してやっつりの1枚



▲当日のアベレージは1キロ級
回遊してくる。最盛期に突入した茨城県のヒラメ釣り、チャレンジするなら今だ!
(詳細は52ページ参照)

12月1日、茨城県海域のヒラメ釣り場が全面解禁になり、大洗港と日立久慈漁港のヒラメ乗合がスタートした。解禁日はあいにくのシケで全船中止となり、取材したのは3日が初日となった大洗港の第一東海丸。大洗沖の水深30メートル前後をメインに狙い、1キロ級主体に最大6キロオーバーも交えてトップ5枚、船中8名全員がヒラメを釣り上げ上々のスタートを切った。北條晃船長によると、流し変えるたびにヒラメの顔が見られたので今シーズンは期待できるとのこと。

年末年始にかけてイワシの群れが回遊してくると数はもちろん、これを追ってさらにデカイ「渡り」のヒラメが



▲当日の釣り場は大洗沖30メートルダチ



●茨城県大洗港・第一東海丸
北條 晃船長